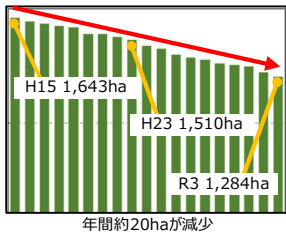


## 現状

園芸用ハウス面積



既存ハウスの築年数

ハウス年数	面積(ha)	割合
～15年	234	21.5%
15年～20年	144	13.2%
20年～25年	209	19.2%
25年～30年	182	16.7%
30年～	318	29.3%
計	1,087	100%

既存ハウスの約3割は築30年以上

園芸用ハウス面積は年々減少しており、産地規模を維持するために老朽化したハウスの立て替えが必要。

高い耐候性

高度な環境制御装置



IoPクラウド「SAWACHI」対応

次世代型ハウス

次世代型ハウスは生産性が高いが整備コストが高く、経費や人件費が増加する中、農家が投資に踏み切れない。

新規ハウス整備は高すぎて手が出ない。  
今あるハウスで高度な栽培管理をできないかな。

高度な栽培管理を  
実践できない

高度化かつ  
生産性を向上できるように  
ハウスをリノベーションしよう！

## 対策

生産基盤の強化を図るため、既存ハウスの高度化による長寿命化を支援します。

事業実施主体  
補助対象

市町村、公社、農業者、農業者の組織する団体 (JA、研究会等)

- 1 ハウス本体の補強及び高度化に要する資材の導入
  - (1) ハウス本体の補強に要する資材の導入 ※国庫事業を優先的に活用するものとする。
  - (2) 被覆資材等の高度化 (被覆資材、止水シート)
  - (3) 内樋の新設に要する資材の導入
- 2 ハウス又は露地圃場における環境制御装置のリース導入又は資材の導入
  - (1) カーテン資材の導入
  - (2) 自動開閉装置のリース導入 (自動開閉装置の新規導入時に必要な資材の高度化を含む)
  - (3) 環境制御装置のリース導入

高度化

生産性の向上



今あるハウスをグレードアップ↑↑↑

補助率等

- 1 本体価格の3分の1以内 (千円未満切り捨て)
  - 1 棟あたり補助限度額33万3千円/10a ※フッ素フィルムは補助限度額100万円/10a、1 農業者あたり500万円まで。
- 2 本体価格の2分の1以内 (千円未満切り捨て)
  - 1 棟あたり補助限度額100万円/10a

補助要件

- その1 : 環境測定装置の導入  
 その2 : IoPクラウド「SAWACHI」の利用登録 (無料)  
 その3 : **環境データの接続** (ただし、SAWACHI非対応機種の場合は出荷データの接続でも可)  
 その4 : 対象ハウス本体の**園芸施設共済又は民間事業者が提供する保険への加入**  
 その5 : **今後10年間の営農の意思があること**

自動開閉装置

※自動開閉装置の新規導入時に必要な資材の高度化を含む



ハウス本体の補強

※令和元年・2年度に高知県農業用ハウス防災対策事業費補助金を活用した農業者のみ申請可能



被覆資材の高度化

フッ素フィルム  
※専用の取付資材を含む  
長期展張フィルム (PO)



カーテン資材



環境測定装置

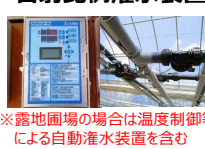


IoPクラウド「SAWACHI」

CO2発生装置



日射比例灌水装置



※露地圃場の場合は温度制御等による自動灌水装置を含む